高円宮杯Ｕ－１８サッカーリーグ２０１２ユースリーグ栃木１部　報告

期間　　２０１２年　４月７日（土）～１０月８日（月）　の７ヵ月間
試合数　　１０チームの２回戦総当たり　１チームあたり１８試合
成績・結果

優勝	栃木ＳＣユース	勝点４３	６位	佐野日大高校Ｂ	勝点２６
２位	矢板中央高校	勝点３８	７位	宇都宮短大付属高校	勝点２２
３位	真岡高校	勝点３３	８位	国学院栃木高校	勝点１５
４位	宇都宮白楊高校	勝点３２	９位	栃木高校	勝点１３
５位	さくら清修高校	勝点３０	１０位	文星芸大付属高校	勝点　６

◎トピックス

１．シーズンを通してリーグ戦を戦うメリット

①１試合を通じて、最後まで運動量が落ちることなくプレーできる選手が増えた。
②試合の流れに応じてプレーできる、ペース配分しながらプレーすることができる選手が増えた。
③試合時間が１試合９０分のため、７０分、８０分のトーナメント戦で足をつらせる選手が少なくなった。

２．上位チームの戦い

優勝した栃木ＳＣユースは、ＧＫ、ＤＦラインから　しっかりビルドアップし、ボールを動かしながらゴールを目指すというスタイルで、シーズンを通して安定した戦いをしていた。しかし、勝負所で勝点を落とす試合もあった。

２位の矢板中央高校は、最終的には勝点５の差がついたが、終盤戦までは、優勝争いはどうなるかわからなかった。栃木ＳＣとの直接戦いで１分け１敗という結果が響いた。

３位の真岡高校は、優勝した栃木ＳＣユースに２勝するなど、安定した戦いをしたが、下位のチームに敗れるなど、勝点を落としたのが最終的に響いた。

３．県１部リーグとトーナメント戦の結果の相関

関東大会予選　　ベスト８の内、６チーム　　ベスト４の内、４チーム（佐野日大除く）
　　優勝　矢板中央高校（１部）　　準優勝　小山南高校（２部）

インターハイ予選　ベスト８の内、６チーム　　ベスト４の内、４チーム（佐野日大含む）
　　優勝　佐野日大高校　　準優勝　小山南高校（２部）
　　（プリンス２部）

選手権大会予選　　ベスト８の内、６チーム　　ベスト４の内、３チーム（佐野日大含む）
　　優勝　佐野日大高校　　準優勝　真岡高校（１部）
　　（プリンス２部）

以上のことから、県１部リーグで戦っているチームは、全てのトーナメント戦でほとんどベスト８、ベスト４以上に入っている。このことから県１部のチームは、トーナメント戦でも上位に入るだけの力を備

えていることがわかる。また、拮抗した試合経験の場が、チーム力を向上させているとも言える。

ただし、少ないかもしれないが、県２部のチームがベスト４に入っているというのも見逃せない事実である。

４．課題・まとめ

ＧＫ、ＤＦラインから　しっかりビルドアップし、ボールを動かしながらゴールを目指すというチームは少なかった。また、プレッシャー（球際の厳しさ）がまだまだ甘い状況があり、少しプレッシャ―がかかるとプレーの精度が落ちることが多かった。９０分の戦いの中でも、さらに厳しいプレッシャーをかけ合い、その中で技術が発揮できるようにしたい。

優勝した栃木ＳＣユースは、プリンスリーグＵ－１８関東２部昇格をかけて、埼玉県代表の武南高校と対戦したが、１－２で敗れ昇格はならなかった。県１部リーグの中では安定したビルドアップ、ボールポゼッションも関東レベルのプレッシャ―の中では、まだ安定してできていない状況がにある。県リーグ１部が早く関東レベルに追いつけるようレベルアップが望まれる。